

## 令和2年度第1回大会・研修委員会 会議録（概要）

日時：令和2年11月5日 14時～17時

場所：秋田県公文書館

出席者：中嶋委員長・長谷川副委員長・青木委員・新井委員・三宮委員・蓮沼委員  
吉田委員・加藤オブザーバー(東北大学)・事務局（桜庭・煙山）

### （1）報告事項

①令和2年度大会・研修委員会委員体制の確認

②令和元年度事業報告・決算

③令和元年度末までの議論の確認

④令和2年度事業計画・予算(資料内容については省略)

- ・令和3年度大会の会場使用料を今年の12月1日までに支払う必要が出た。
- ・今年度大会が中止になったことで、予算に余裕があるため今回は当委員会が支払うが、通常の予算には当然想定していなかった。
- ・今後同様の事案があった場合の対処について、会長事務局の予備費などで支払うなどのことを規約で確認し、会長事務局とも確認してルールとしてきちんとした形にしてほしい。

### （2）協議事項

①令和3年度全国(高知)大会について

- ・高知県立公文書館と、高知県内の全史料協機関会員館、及び高知ミュージアムネットワークなどとの連携により大会を作り上げていく。
- ・単に連携するという良い雰囲気に乗るだけでなく、連携していただける各館に担当者を決めてもらい、定期的な連絡会を行うなどして体制を固めることが大事。
- ・リモートについてはzoomなどのソフト、契約方法などを含め様々な手法を会長事務局と相談しながら研究する。
- ・全史料協の大会は双方向性が大事であり、リモートを利用した大会でもそれは担保されなければならない。
- ・委員会についてもなぜリモート会議にならないのか、今年度の大会もリモートなどを使用して実施するということはできなかったのか。
- ・来年度大会は基本的に会場を設定して例年通りの形式で行うが、来場できない会員のため、リモートを補助的に併用する形でおこなう。

②令和4年度全国大会について

- ・複数の案が提示されたが、次期事務局である山口県文書館が実施しやすい候補地であることも考慮する必要がある。
- ・仙台については令和5年度（2023）開催を軸に調整する。

③その他

- ・今年度第2回委員会は高知市で行うことを基本とする。日程については12月上旬ころにグループメールを通じて調整する。